

NO 4009		レジメン名		RAM-FOLFIRI			
病棟	患者番号	氏名	癌種	ステージ	PS	クール数	指示医師名
						~	
			年齢	身長	体重	体表面積	GFR(血清クレアチニン値)
			歳	cm	kg	m ²	ml/min (mg/dl)
【適応がん種】 Colon K			RAM/I-LV/CPT-11/5FU/5FU		CCr補正	GOT補正	T-Bil補正
1・サイラムザ	8 mg/kg	DAY1					
2・レボホリナート	200 mg/m ²	DAY1					
3・イリノテカン	150 mg/m ²	DAY1					
4・フルオウラシル Bolus	400 mg/m ²	DAY1					
5・フルオウラシル 持続	1200 mg/m ²	×2回 DAY1-2					
(合計2400mg/m ²)					WBC基準	HGB基準	PLT基準
					T-Bil	Scr	GOT/GPT/ALP
14日(2週)1クール					【病状】 1 全て説明している 2 病名は説明しているが、詳しい病状については説明していない 3 未告知である 【治療】 1 抗癌剤による治療・予防と説明 2 抗癌剤とは言わず治療薬と説明 3 抗癌剤とは言わず予防薬と説明 4 薬に関しては説明していない 平成29年6月14日 改訂		
NO	薬品1	規格	本数	薬品2(規格本数)	時間・投与法		
①	アロキシバック		1 本		全開で点滴		
②	デキサート 6.6mg ブスコパン ネオレスタール		1 本 1 本 1 本	★生食50mL	主・15分で点滴		
③	サイラムザ()mg	500mg 100mg	本 本	生食250mL	デキサート終了後～ 主・1時間で点滴		
④	生食50mL		1 本		サイラムザ終了後～ 主・全開で投与		
⑤	レボホリナート ()mg 「オーハラ」	100mg 25mg	本 本	▲5%ブドウ糖250mL	生食フラッシュ後～ 主・2時間で点滴		
⑥	イリノテカン()mg	100mg 40mg	本 本	生食500mL	生食フラッシュ後～ 側・1時間30分で点滴		
⑦	フルオウラシル Bolus()mg	1000mg	本	★5%ブドウ糖50mL	レボホリナート終了後～ 側・全開で投与		
⑧	フルオウラシル 持続()mg	1000mg	本	ソルデム3A500mL	フルオウラシル Bolus終了後～ 主・23時間で持続点滴 ポンプ使用！！		
⑨	デキサート 6.6mg		1 本	★生食50mL	Day1のフルオウラシル持続終了後～ 主・全開で点滴		
⑩	フルオウラシル 持続()mg	1000mg	本	ソルデム3A500mL	デキサート終了後～ 主・23時間で持続点滴 ポンプ使用！！		
⑪	生食50mL		1 本		Day2のフルオウラシル終了後～ 全開で点滴		

【1. 原則禁忌】 ●脳転移患者(脳出血のおそれ)

【2. 投与前必須検査】

●投与前・後に血圧測定 BP180/120を超える場合は主治医へ報告

●サイラムザ検査セット(●血液算定●T-Bil●GOT●GPT●ALP●ALB●Scr●CRP●尿蛋白測定●PT-INR●APTT●フィブリノーゲン●D-ダイマー)

【3. 投与可能条件】

●WBC3000以上(好中球1500以上)●HGB9g以上●PLT100000以上●T-Bil施設の基準値1.5倍以下

●GOT/GPT/ALP基準値の2.5倍以下(肝転移を有する場合は5倍以下)●血清クレアチニン値基準値の1.5倍以下

●水様性下痢を認めない●感染を疑わせる38℃以上の発熱が無い●グレードⅡ以上の非血液毒性(食欲不振を除く)を認めない

外来 ・ 入院

指示日; 年 月 日

			201706新規									
月日	指示		指示医	受け	監査	払い	払監	調製	調監	前確	実施	
		①②③④⑤⑥⑦⑧ DAY1										
		⑨⑩⑪ DAY2										

13日間以上 間隔をあける！！

月日	指示		指示医	受け	監査	払い	払監	調製	調監	前確	実施
		①②③④⑤⑥⑦⑧ DAY1									
		⑨⑩⑪ DAY2									

サイラムザ投与 リスク患者:

- 1) 消化管など腹腔内の炎症を合併(消化管穿孔のおそれ)
- 2) 大きな手術の術創が治癒していない(創傷治癒遅延による合併症)
- 3) 先天性出血素因、凝固系異常のある患者(出血のおそれ)
- 4) 抗凝固剤投与中の患者(出血のおそれ)
- 5) 血栓塞栓既往患者(心筋梗塞、脳梗塞、深部静脈血栓症、肺塞栓症のおそれ)
- 6) 高血圧患者(悪化のおそれ)
- 7) 高齢者(重大な副作用が現れやすい)
- 8) 妊婦、授乳婦(動物実験で催奇形性、授乳中に移行)